

令和6年度 事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

I. 青少年活動

日本の将来を担い未来を築く青少年が、健康な身体を養い豊かな感性と高い徳性を磨き、有為な青年に成長することを目的に、基本理念である“愛と汗の精神”に基づいた本団の活動と一致するSDGsの取組みに添って、自然体験・社会奉仕体験を中心とした青少年健全育成活動の充実を図り実施した。また、愛と汗の実践活動として、フィリピン・ゴミ山などの貧困の中で暮らす子どもたちへの支援活動や震災などの被災者に対する支援活動を継続して展開した。

1. 子ども自然体験活動

“愛と汗の精神”に基づいた子ども自然体験キャンプを全国的に開催し、大自然の中で障害児を含む異年齢の仲間とともに野営による共同生活をとおして、様々な課題や困難を乗り越え、自主性、協調性、感受性等を育てるなど、次代を担う青少年の心豊かな人格形成を図ることを目的に開催した。

(1) 夏期子ども自然体験キャンプ

〈別表-1〉

ア. 「子ども自然体験キャンプ」《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 間 8～10月 <2泊3日(道南、沖縄)、3泊4日(桧原湖畔、瀬戸内海、鹿児島)>

開催数 5会場(道南、桧原湖畔、瀬戸内海、鹿児島、沖縄)

スタッフ等 158名

参加者 264名(内、障害児14名)

イ. 連合会等組織共催「子ども自然体験キャンプ」

期 間 8月 <2泊3日(広島)、3泊4日(いばらき、北部九州)>

開催数 3会場(いばらき、広島、北部九州)

スタッフ等 66名

参加者 126名

ウ. 子ども自然体験キャンプ事前調査《子どもゆめ基金助成活動》

No.	キャンプ名	実施日	スタッフ
1	道南ふれあい	6月 2日(日)～ 5日(水)	志村 和也・林 春幸
2	桧原湖畔	5月27日(月)～29日(水)	谷野 渉
3	瀬戸内海	6月 5日(水)～ 7日(金)	板倉 和也・中野 淳一
4	鹿児島	6月17日(月)～19日(水)	志村 和也・栗原 浩司
5	沖縄	7月 4日(木)～ 6日(土)	谷野 渉・鈴木 綾
6	わくわく	5月27日(月)～28日(火)	増田 航介

エ. キャンプ主事・事務担当者

キャンプ名	主 事	事務担当者	キャンプ名	主 事	事務担当者
①道 南	志村 和也	林 春幸	②桧原湖畔	谷野 渉	鈴木 綾
③瀬戸内海	板倉 和也	中野 淳一	④鹿児島	志村 和也	栗原 浩司
⑤沖 縄	谷野 渉	鈴木 綾			

オ. 共催キャンプへの講師・スタッフ等派遣

キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師	キャンプ名	派遣講師
⑥いばらき	谷野 渉	⑦広島	板倉 和也	⑧北部九州	保坂 正志

カ. 印刷物の作成《子どもゆめ基金助成活動》

①「子ども自然体験キャンプ」リーフレットの作成

部 数 9,200部
体 裁 A4版、4色刷り

②「子ども自然体験キャンプ」報告書の作成

部 数 600部
体 裁 A4版、66頁

(2) 「子どもわくわく自然体験キャンプ(招待)」

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

開催日 9月14日(土)～16日(月・祝) <2泊3日>
開催地 ばんだいふれいびあ
スタッフ 6名(増田 航介、林 春幸、他4名)
リーダー 22名(高校生以上の青年)
参加者 47名(小中学生)

(3) 冬期子ども自然体験キャンプ

ア. 子ども自然体験スキーキャンプ

《第1回》

開催日 12月26日(木)～30日(月) <4泊5日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいびあ及び裏磐梯スキー場)
指導者 2名(高橋源一郎、鈴木 幸:SAJスキー指導員)
スタッフ 4名(谷野 渉、板倉 和也、増田 航介、林 春幸)
炊事員 1名(佐藤 由佳)
参加者数 73名(リーダー25名、キャンパー48名)

※子ども自然体験スキーキャンプリーダー研修会

開催日 12月24日(火)～26日(木) <2泊3日>
スタッフ 2名(谷野 渉、板倉 和也)
参加者数 16名

《第2回》

開催日 令和7年3月26日(水)～30日(日) <4泊5日>
開催地 福島県(ばんだいふれあいびあ及びネコママウンテンスキー場)
指導者 2名(高橋源一郎、鈴木 幸:SAJスキー指導員)
スタッフ 4名(谷野 渉、増田 航介、林 春幸、鈴木 綾)
炊事員 1名(佐藤 由佳)
参加者数 63名(リーダー24名、キャンパー39名)

※子ども自然体験スキーキャンプリーダー研修会

開催日 令和7年3月24日(月)～26日(水) <2泊3日>
スタッフ 2名(谷野 渉、増田 航介)
参加者数 18名

イ. 報告書の作成

部 数 200部
体 裁 A4版、36頁

(4) 子ども週末体験活動

週末や連休などを利用して子どもたちが集い、交流・体験活動を行うことで、子どもたちの自主性や協調性、コミュニケーション能力などを培い、チームやグループでの活動を通じて達成感やお互いの信頼を深めるなど、心豊かな人間性を育むことを目的に実施した。

リーダー研修会では、自然体験活動や社会奉仕体験活動を実践している高校生・大学生等の青年指導者が集い、体験活動やその展開方法について講演を聴講し、協議で知識や技術を習得したり、実際の活動を通して、自主性・協調性や相互のチームワークを築く活動を行った。

ア. WAKU×2ボランティアリーダー研修会

〈別表-2〉

開催数 13会場 <各1日～1泊2日間>
指導者等 27名
参加者 169名

イ. 子どもWAKU×2ひろば《子どもゆめ基金助成活動》

〈別表-3〉

開催数 13会場 <各1日～2泊3日間>
指導者等 170名 (講師22名、リーダー148名)
参加者 319名

(5) 夏期少年少女合宿講習会他 (伊勢青少年研修センター)

ア. 夏期少年少女合宿講習会 (各地青年会議所等共催) 会場: 伊勢青少年研修センター

期 日	共催団体名・事業名	参加者数
7月22日(月)～24日(水)	一般財団法人日本教育再生機構大阪茨木支部 寺子屋伊勢合宿	49名
7月26日(金)～28日(日)	一般社団法人岸和田青年会議所 「第33回岸和田少年少女サマースクール」	66名
7月30日(火)～8月1日(木)	一般社団法人伊勢青年会議所 「第50回伊勢少年少女合宿講習会」	98名
合 計	3回	213名

イ. 伊勢近江自然体験交流合宿

開催日 8月10日(土)～13日(火) <3泊4日>
会 場 伊勢青少年研修センター
対 象 小学2年生～6年生
参加者 63名

ウ. 房総自然体験交流合宿

開催日 8月20日(火)～23日(金) <2泊3日>
会 場 千葉県立君津亀山青少年自然の家(館山市)
参加者 12名

エ. 週末体験

(ア) リーダー研修会

開催日 ①5月25日(土)～26日(日) <1泊2日>
②10月19日(土)～20日(日) <1泊2日>
③11月30日(土)～12月1日(日) <1泊2日>
会場 伊勢青少年研修センター
参加者 ①5名、②4名、③8名 合計17名

(イ) クリスマス会

開催日 12月14日(土)～15日(日) <1泊2日>
会場 伊勢青少年研修センター
参加者 75名

(6) テント整備(ぼんだいふれあいぴあ)

期日 10月3日(木)～4日(金) <1泊2日>
スタッフ 3名(板倉 和也、谷野 渉、林 春幸)

2. 子どもボランティア推進活動

“愛と汗の精神”に根ざした様々なボランティア活動を実践することにより、人のため、社会のために行動することの素晴らしさや真の喜びを体感し、お互いに理解し合い、分かち合い、豊かな感性を磨き、思いやる心や心豊かな人格形成に寄与する活動を行った。

(1) 幸せの種まきキャンペーン《文部科学省後援》

地域・学校(生徒会・ボランティア部)、PTA等と連携を図り、これまで実践しているフィリピン等での支援活動を紹介した。ストリートチルドレンやスカベンジャーなど「貧困と共に生きる子どもたち」の現状や貧しくとも親を助け懸命に生きる姿を通して、ボランティア精神を涵養し、他者への思いやり、命の大切さ、親や周りの人への感謝など、青少年の豊かな心を育むことを目的として全国的に開催した。

ア. 幸せの種まきキャンペーン「出前講座・課外授業」

〈別表-4〉

開催数 30会場
派遣講師 各2名(山口千恵子、谷野 渉、増田 航介)
体験発表 4名(加藤 湊、石川 理沙、飯島 理央:2回、濱畑 勇哉)
参加者 4,332名

イ. パンフレットの作成・配布

部数 5,000部
体裁 A4版、8頁、4色刷
配布先 5,000ヶ所

(2) 青年ボランティアゼミナール

開催数 4回
 会場 SYD会議室及びオンライン (Zoom)
 講師 各1～14名 (国内外のボランティア経験者等に委嘱)
 参加者 103名

回数 (通算)	実施日	テーマ	講師	出席者数
第1回 (124)	4月12日(金)	世界青年の船、東南アジアの船 あなたも日本代表の青年に	飯塚 誠 廣田 七海 梅津 大聖 (大学生)	28名
第2回 (125)	8月12日(月・祝)	ブラジルを知ろう ～心で繋がっているブラジルと日本～	安楽 カルロス 嶋田 美智雄	20名
第3回 (126)	9月27日(金)	青年ボランティア・アクション inフィリピン報告会	川添 祐基他13名	30名
第4回 (127)	令和7年 2月14日(金)	みんなで考えたい 地域コミュニティのこれから	白羽 優之介 (法政大学2年生)	25名
※オンラインと対面で開催			20名	103名

(3) 令和6年能登半島豪雨被災者支援ボランティア ア. 能登半島復興ボランティア

No.	実施日	会場名	講師スタッフ	参加者
1	10月23日(金) ～26日(月)	石川県輪島市	谷野 渉 板倉 和也	1名
2	11月30日(土) ～12月2日(日)	石川県輪島市	谷野 渉 板倉 和也	6名
3	令和7年 3月14日(金) 3月17日(月)	石川県輪島市・珠洲市	谷野 渉 板倉 和也	8名
※2は地震の影響で出発日を11/29から変更し、2泊3日で開催。			6名	15名

3. SYD指導者の養成

自然体験や社会奉仕体験などのさまざまな実践活動を行い、自ら活動の楽しみや喜びを体得するとともに、子どもたちを安全に導きながら体験活動を積極的に推進するための知識や技能を修得し、“愛と汗の精神”を日常的に実践するSYD指導者の養成に努めた。

(1) 全国青年アカデミーキャンプ in 福島《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

全国から集った中高大学生等の青少年が異年齢の仲間とともに大自然の中でキャンプ(共同生活)を実施。自然の素晴らしさや厳しさを感じながら、自然体験活動を積極的に推進するための知識や技能を習得するとともに、国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)に添った学びの場やテーマについての協議を行う中で、他者を思いやる心や積極的に汗を流せる自主性、コミュニケーション能力などの次代を担う青少年の心豊かな人格形成を図った。

期 日 7月30日(火)～8月3日(土) <4泊5日>
 会 場 ばんだいふれあいぴあ
 スタッフ 5名(岩佐加寿子、山口千恵子、板倉 和也、谷野 渉、増田 航介)
 参 加 者 17名(全国の中学生及び高校生等)

(2) 全国青年ボランティアの旅 in 東北【新規】

《文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動》

期 日 令和7年3月31日(月)～4月4日(金) <4泊5日>
 会 場 ばんだいふれあいぴあ他
 講 師 宮城県農業高等学校生徒5名
 震災遺構中浜小学校語り部ガイド
 スタッフ 6名(岩佐加寿子、山口千恵子、板倉 和也、谷野 渉、増田 航介、林 春幸)
 参 加 者 40名(全国の中学生及び高校生等)

※事前調査

期 日 11月27日(水) <1日>
 派 遣 者 1名(板倉和也)
 会 場 宮城県石巻市他

(3) ボランティア・アクション

No.	開催地・協力	実施日	会場名	講師スタッフ	スタッフ参加者
1	沖縄ヤングジェネレーション	7月6日(土)～7日(日)	沖縄県立玉城青少年の家	安仁屋 聡 板倉 和也	26名
2	SYD青年部(道南)	7月12日(金)～13日(土)	八雲シンフォニー	(志村 和也) (増田 航介)	中止
3	SYD青年部(道南)	令和7年 3月8日(土)～9日(日)	八雲シンフォニー	松草 太陽 志村 和也 増田 航介	4名 6名
4	SYD青年部(瀬戸内海)	3月8日(土)～9日(日)	国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター	板倉 和也	6名 20名
※2は中止			合 計 3回	6名	10名 52名

(4) 指導者養成事業報告書の作成

上記3事業の報告書を作成し、事業の成果を広く一般に広報する。

部 数 400部
 体 裁 A4版、86頁

4. 青年組織育成活動

“愛と汗”の精神に基づいた自然体験・社会奉仕体験活動を年間を通して実践する青年部組織の育成・充実のため本団講師の派遣や活動資金の助成を行った。

(1) 青少年活動(キャンプ)担当者会議

期 日 4月21日(日) <3時間>
 会 場 オンライン開催 (Zoomにて)
 スタッフ 7名(山口千恵子、市島 寿里、板倉 和也、谷野 渉、増田 航介、保坂 正志、志村 和也)
 参 加 者 13名(各地キャンプ担当者)

5. 関係機関・団体との協力

〈別表-5〉

青少年の健全育成ならびに社会教育に寄与する活動の充実を図り、青少年教育及び社会教育の関係機関・諸団体との協力・連携を図ることを目的に、会議出席するなどの活動を行った。

II. 国際交流活動

1. フィリピンとの交流事業 (サポーティングプログラム)

フィリピンケソン市パヤタスのゴミ山で働く子どもたち(スカベンジャー)やマニラ市のストリートチルドレン(路上で生活する子どもたち)等を訪問し、ボランティア活動・交流活動・支援活動の実践をとおして友好と相互理解を促進した。このことにより、SDGsの目標である「貧困」や「飢餓」などについて深く学び、他者への思いやりや命の尊さ、またより良い社会のために活動する精神を培うなど、自ら生きる意味を模索し、国際協力の精神を涵養し、学校や地域で活動する青少年指導者を育成することを目的に開催した。

(1) 第21回青年ボランティア・アクションinフィリピン《文部科学省後援》

期 日 8月20日(火)～26日(月) <6泊7日>
訪 問 地 フィリピン(マニラ市、ケソン市他)
指 導 者 2名(山口千恵子、増田 航介)
参 加 者 19名(全国の満15歳以上の中学生、高校生、大学生等の青年)

※事前調査

期 日 7月18日(木)～22日(月) <4泊5日>
派 遣 者 1名(増田 航介)
会 場 フィリピン(マニラ市、ケソン市他)

(2) 「青年ボランティア・アクションinフィリピン」支援バックの作成作業

期 日 8月12日(月・祝) <1日間>
スタッフ 6名
参 加 者 29名

(3) フィリピン支援者訪問ボランティア(学資支援開始20周年記念)

期 日 10月10日(木)～14日(月・祝) <4泊5日>
訪 問 地 フィリピン(マニラ市、ケソン市他)
指 導 者 2名(山口千恵子、増田 航介)
参 加 者 13名(全国の学資支援を行っている、あるいはこれから行おうと考えている大学生・社会人)

(4) フィリピン事業の報告書の作成・配布

上記(1)(3)の報告書を作成・配布
部 数 250部
体 裁 A4版, 74頁

2. ブラジルとの指導者交流事業

(1) ブラジル指導者の招聘

ブラジル修養団の推薦する指導者及び青年リーダーを招聘し、伊勢講習会や子ども自然体験キャンプ等への参加・研修をすることにより、ブラジルで開催される少年少女講習会等で活躍する青少年指導者の養成を図った。

ア. ブラジル青年リーダーの招聘

期 日 7月16日(火)～8月14日(水) <30日間>
 招聘者 安楽 カルロス エドアルド(31歳・社会人)
 嶋田 ドウグラス 美智雄(30歳・大学生)
 主な日程 本部研修、伊勢研修、ぼんだいふれあいぴあ研修、都内視察

イ. ブラジル修養団講師の招聘

期 日 令和7年2月上旬～下旬 <21日間>
 ※該当者がなく中止

(2) ブラジルへの指導者派遣

期 日 令和7年1月7日(火)～2月13日(木) <38日間>
 派遣先 ブラジル(サンパウロ、モジ、スザノ、マリンガ他)
 派遣者 志村 和也(講師・社会教育部)
 主な活動 少年少女講習会、リーダー研修会、講演会等

期 日	講習・講演会名	参加者	リーダー	スタッフ ボランティア 等	講演会	計
1/10～12	モジ・ダス・クルーゼス講習会	121	45	15	39	221
1/17～19	スザノ少年少女講習会	115	60	18	53	246
1/21～23	アサイ少年少女講習会	100	22	19	—	141
1/24～26	マウア・ダ・セーハ講習会	55	27	39	18	139
(中止)	ロンドリーナ リーダー養成研修会	中止				
1/31～2/2	マリンガ修養林間学校	119	29	50	45	243
2/8～9	サンパウロリーダー研修	43	—	2	—	45
合 計		553	184	143	155	1035

公益2

Ⅲ. 講習会・講演活動

1. 伊勢講習会 会場：伊勢青少年研修センター

(1) みがく講習会(定例講習会)

開催数 5回 <各3泊4日>
 参加者 235名(平均47名、定員各60名)
 対 象 企業の新入社員・中堅社員・幹部社員他

<別表-6>

(2) みがく特別講習会

開催数 4回 <各1泊2日>

参加者 329名 (平均82名、定員各100名)

<別表-7>

(3) 特別講習会

ア. 神嘗祭講習会

期 日 10月15日(火)～17日(木) <2泊3日>

参加者 97名

対 象 一般社会人

(4) 受託講習会

開催数 15回 (前年度14回)

参加者 857名 (前年度662名)

<別表-8>

(5) 貸会場

開催数 15回 (前年度16回)

参加者 588名 (前年度517名)

<別表-9>

(6) 講師派遣 (講演・講習活動)

開催数 13回 (前年度67回)

参加者 1,125名 (前年度4,963名)

<別表-10>

2. 関東・東北地区等講習会

(1) 新入社員セミナー

期 日 4月22日(月)～24日(水) <2泊3日>

会 場 ヴィライナワシロ (福島県猪苗代町)

※参加者が開催可能な人数に達せず中止

(2) リフレッシュセミナー

期 日 令和7年2月18日(火)～20日(木) <2泊3日>

会 場 LAKE SIDE HOTEL みなとや(福島県猪苗代町)

講 師 4名 (鈴木 義信、山 崎一紀、志村 和也、板倉 和也)

参 加 者 12名 (男性12名)

3. 受託セミナー

<別表-11>

(1) 一般社員社員セミナー

ア. 1日コース

開催数 5回

参加者 319名

(2) 新入社員セミナー

ア. 1日コース

開催数 2回

参加者 133名

イ. 1泊2日コース

開催数 1回

参加者 54名

ウ. 2泊3日コース

開催数 2回

参加者 31名

4. 企業・組織訪問

講演会・講習会の参加者募集や実施及び団運動の拡大を目的として企業・組織を訪問した。

期 日	訪問地域	訪問社数	訪問者
10月23日(水) ～24日(木)	京都府、富山県	2社	保坂、志村
10月28日(月) ～30日(水)	福島県	13社	志村
11月 1日(金)	福島県	1社	志村
令和7年1月30日(木)	福島県	1社	保坂、板倉
	4回	17社	

IV. 家庭教育活動

1. 家庭《共育》セミナー

親子や家族のあり方、高齢社会での世代間交流など、身近な課題に取り組むとともに、楽しい子育て、幸せな家庭、生き生きとした地域社会の実現を目指し、家庭教育の助けとなるZ o o mを活用したオンライン講座を実施した。

(1) 「Z o o mでオンライン家庭《共育》ひろば」

開催日	講 師	演 題	参加者数
令和7年3月22日(土)	土江 梨奈子 (臨床心理士・公認心理師)	「ストレスとうまく付き合おう ～ストレスマネジメント講座～」	13名

V. 会員・組織活動

1. 「幸せの種まき運動」の推進

会員及び会員組織と連携を図るとともに、諸団体にも呼びかけ、「愛と汗」を基本に下記事業を展開し、心ひとつにして「幸せの種まき運動」の推進を図った。

(1) 第16回「チャリティー演芸会」～今年も七夕前夜祭で笑^{しょう}！の巻～

ーストリートチルドレン支援ー

落語・講談が披露され、会場は大爆笑に包まれた。会場へ足を運ばない方々に「心の参加者」として広く寄附のご協力を呼びかけ、9件・150,000円の献金が寄せられた。

期 日 7月5日(金) 18時30分～20時30分

会 場 SYDホール

出演者 立川らく兵、立川らく次、宝井 琴鶴、林家たま平

来場者 70名

係 員 14名(職員・ボランティア)

※収益金109,200円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(2) 「幸せの種まき祭り」ーストリートチルドレン・災害被災者支援ー

「チャリティーバザー」を開催し、全国のSYD連合会・クラブをはじめ、趣旨にご賛同いただいた企業・有志から提供された特産品や衣類のほか、北海道、埼玉県、岐阜県の会員から届いた新鮮な野菜を販売した。

期 日 11月9日(土) 12時～14時
会 場 SYDビル正面広場、SYDホール
参 加 者 約200名(近隣住民および会員など)

※収益金733,224円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

(3) 第8回「東京ベルズ」ハッピーヴォイスチャリティーコンサート

ーストリートチルドレン・災害被災者支援ー

NPO法人「東京ベルズ」の協力によるチャリティーコンサートを開催した。

東京ベルズによるアカペラコーラス中心のプログラムで進行し、昨年へ続き「さいたまシティジュニアコーラス」のメンバーが賛助出演した。また、特別企画「フィリピン・パヤタスのゴミ捨て場で生きる子どもたちとSYD」では、SYD職員(山口千恵子、増田航介)および青年リーダー2名が映像を交えて講演した。

また、会場ロビーではSYDが発行する日めくりカレンダー「日々の力」令和7年版の作者である小亀たく氏による「チャリティー原画展」が開催された。

会場へ足を運ばない方々に「心の参加者」として広く寄付のご協力を呼びかけたところ、20件・173,000円の献金が寄せられた。後日、ご寄付をいただいた方に対して、当日の動画を配信した。

期 日 12月7日(土) 14時～16時
会 場 SYDホール
来 場 者 110名

出 演 者 高牧 康、御幸 りか、花岡 るみ、古谷万理子、白瀬 恵、松本
久志、古葉 映、ラジアン円、さいたまシティジュニアコーラス

※収益金612,000円を「幸せの種まき献金」へ繰り入れた。

2. 会員組織活動への支援など

(1) 修養団創立119周年記念式典

式典中、「第19回SYDボランティア奨励賞贈呈式」、「令和6年度修養団功労者表彰贈呈式」、「記念講演」および「第13回全国修養団運動推進会議」を実施した。

記念講演は本団理事・修養団宇部市連合会会長の岡村精二氏が登壇した。

期 日 令和7年2月8日(土)
会 場 SYDホール
出 席 者 64名(ボランティア奨励賞贈呈式出席者15名を含む)

(2) 第13回「全国修養団運動推進会議」の開催

日頃より修養団運動を推進している主なクラブ・連合会の代表者や今後の活動が期待できる方を対象に開催。

令和7年度事業計画の概要説明、能登半島地震で被災した新中学生への制服購入支援活動の報告、各地での活動や運動推進の取り組みについて報告が行われた。

期 日 令和7年2月8日(土)～9日(日)
会 場 SYDホール
出 席 者 38名(オンライン出席1名を含む)

(3) 講師・役職員の派遣

5月29日	修養団所上越「総会」 5名(新潟県上越市・藤作別館)	【保坂】
6月14日	修養団愛汗喜多方「令和6年度総会」 17名(福島県・喜多方市厚生会館)	【真下、保坂】
6月16日	修養団広島県連合会「令和6年度総会」 9名(広島県坂町・特別養護老人ホームたかね荘こやうら)	【真下】
6月29日	修養団愛汗郡山「第19回定例総会」 9名(福島県郡山市・ベルヴィ郡山館)	【志村】
7月12日	修養団福島県連合会「令和6年度通常総会」 21名(福島県郡山市・㈱ヨークベニマル本社)	【山崎主幹、根岸相談役、保坂】
3月 2日	第37回沖縄戦遺骨収容活動	
～4日	34名(沖縄県糸満市・南北の塔)	【真下】

(4) 活動助成金の支出

クラブ・連合会の活動の拡充と活性化を図ることを目的とし、修養団のクラブ・連合会がおこなう活動に助成金3万円を交付した。

- ①修養団伊勢いなほの会「蓮沼門三の勉強会と伊勢神宮奉納花火大会観覧」
(7月13日・伊勢青少年研修センター及び宮川河畔/参加者30名)
- ②SYDいばらき「青年リーダー育成プログラム」
(10月12日～14日・ばんだいふれあいぴあ/参加者8名)

3. 会員状況と会員組織

諸事業において、資料に見本誌を入れ配布した。また、「日々の力」や図書を発送する際に見本誌を同封するなど、会員拡大を図るとともに、クラブ・連合会を通じて加入促進をお願いした。

本団主催の講習会(みかく講習会、リフレッシュセミナー)受講者には、事後学習の一助にと1年間にわたり「向上」誌を送付。発送終了の時期には講習会受講時の感想文とともに、継続購読を依頼した。

(1) 会員の現状

〈別表-12〉

会員種別	当年度(R7.3.31現在)	前年度(R6.3.31現在)	増減
ふれあい会員	47	359	△312
愛会員	195	358	△163
向上会員	1,061	1,128	△67
永生会員	10,728	10,728	0
合計	12,031	12,573	△542

(2) 後援会会員の現状

会員種別	当年度(R7.3.31現在)	前年度(R6.3.31現在)	増減
法人会員	96	98	△2
個人会員	134	113	21
合計	230	211	19

VI. 幸せの種まき献金活動

1. 募金活動

会員組織、会員及び「幸せの種まきキャンペーン《出前講座》」実施校などを通じて募金活動をおこなった。

		6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月計金額		326,420	155,669	173,885	580,858	277,332	672,676	
《一般献金》		35,946	93,582	110,910	359,785	236,201	17,006	
《指定献金》		290,474	62,087	62,975	221,073	41,131	655,670	
指定献金内訳	能登半島地震被災者支援	104,474	18,087	30,975	35,073	0	0	
	奥能登新中学生制服支援	116,000	0	0	0	0	0	
	能登半島豪雨被災者支援	0	0	0	0	0	300,000	
	フィリピン	子ども学資支援	18,000	0	18,000	108,000	18,000	36,000
		大学生学資支援	18,000	0	0	0	0	252,000
		学校支援	34,000	44,000	14,000	54,000	23,131	67,670
		TIUシアター芸術教育支援	0	0	0	24,000	0	0

		10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	
月計金額		283,271	1,790,615	586,965	1,145,760	133,211	103,024	
《一般献金》		110,271	845,448	299,083	700,659	21,711	71,024	
《指定献金》		173,000	945,167	287,882	445,101	111,500	32,000	
指定献金内訳	能登半島地震被災者支援	0	0	0	0	0	0	
	奥能登新中学生制服支援	0	0	0	0	0	0	
	能登半島豪雨被災者支援	41,000	20,000	5,000	10,000	0	0	
	フィリピン	子ども学資支援	90,000	36,000	154,000	180,000	20,000	18,000
		大学生学資支援	18,000	0	20,000	200,700	40,000	0
		学校支援	14,000	14,000	29,000	44,401	14,000	14,000
		TIUシアター芸術教育支援	10,000	875,167	79,882	10,000	37,500	0

		今年度合計		前年度合計		
年間合計金額		6,234,786	(209 件)	18,724,276	(597 件)	
《一般献金》		2,906,726	(100 件)	※決算処理及び消費税処理状況により差異が発生します		
《指定献金》		3,328,060	(109 件)			
指定献金内訳	能登半島地震被災者支援	188,609	(11 件)			
	奥能登新中学生制服支援	116,000	(4 件)			
	能登半島豪雨被災者支援	376,000	(9 件)			
	フィリピン	子ども学資支援	696,000			(33 件)
		大学生学資支援	548,700			(14 件)
		学校支援	366,202	(27 件)		
TIUシアター芸術教育支援		1,036,549	(11 件)			

※心の参加者（一般献金）…チャリティー演芸会 150,000円（9件）

〃 …東京ベルズコンサート 173,000円（20件）

2. 支援活動

海外のストリートチルドレン支援として、フィリピンの子ども38名と大学生6名の学資支援及び子どもたちが学ぶ学校への支援をしたほか、国内の災害に対する支援、また国内の福祉施設に対する支援を実施した。

(※=全て指定献金/ **=一部指定献金)

〈国内災害被災者支援〉 (※=全て指定献金/ **=一部指定献金)

・石川 県：	令和6年能登半島地震に伴う制服購入代金支援 (奥能登地域の新中学生・72名) ★昨年度からの継続支援	2,504,008 円※
・石川 県：	奥能登豪雨災害支援 (石川県珠洲市)	300,000 円※
・石川 県：	奥能登地域の中学生に対する制服支援 (豪雨により2次被害に遭った中学生への再支援・3名)	199,500 円**
・石川 県：	能登半島地震被災者支援 (石川県輪島市)	1,500,000 円**
・石川 県：	能登半島復興支援ボランティア (石川県珠洲市・輪島市) ガソリン代等諸経費 (3回分)	392,218 円**

〈ストリートチルドレン支援〉

(※=全て指定献金/ **=一部指定献金)

・フィリピン：	子ども(幼稚園～高校生) 学資支援 (スカベンジャー・38名)	684,000 円※
・フィリピン：	大学生学資支援(スカベンジャー・6名)	1,080,000 円**
・フィリピン：	ストリートチルドレンの子どもたち等招待	1,100,000 円
・フィリピン：	「マザー・テレサの家」 (おむつカバー、壁掛け時計、目覚まし時計)	39,763 円
・フィリピン：	スカベンジャーの子どもたちへのプレゼント (レインコート)	200,000 円※
・フィリピン：	・スカベンジャーの子どもたち給食支援 ・アロマ地区大規模火災被災の子どもたちイベント招待 ・パヤタス、スモーキー地区の子どもたちへの クリスマスプレゼント費用	300,000 円
・フィリピン：	「T I Uシアター」芸術教育支援 (10万円×12ヵ月)	1,200,000 円**
・フィリピン：	スカベンジャーの子どもたちへのクリスマスプレゼント (チョコレート)	42,022 円**
・フィリピン：	「パンガラップ・ラーニング・スクール」 (学校運営支援・12万円×12ヵ月)	1,440,000 円**

〈福祉施設・団体支援〉

・福 島 県：	山都デイサービスセンター「しゃくなげホーム」	30,000 円
計		11,011,511 円
前年度合計		16,771,333 円

3. 幸せの種まき献金委員会

(1) 幸せの種まき献金委員会の開催

以下のように定期的に開催し、活動の充実・推進について協議した。

令和6年 4月18日、5月16日、6月19日、7月17日、9月4日
10月9日、11月12日、12月11日
令和7年 1月7日、3月11日

(2) 報告書の作成・配布

令和5年度活動報告書(1,300部)を発行し、クラブ・連合会、募金して下さった方々に送付した。

また、能登半島地震に伴い実施した「奥能登地域の中学生に対する制服支援」の報告書(1,100部)を別途作成し、上記活動報告書と同様に送付・配布を行った。

公益3

VII. 出版・広報活動

1. 機関誌「向上」「愛」の発行

(1) 「向上」

号	発行部数	随想テーマ
4月号	2,800	心新たに
5月号	2,000	美しいもの
6月号	2,100	会いたい人
7月号	2,600	笑顔のたね
8月号	2,100	続ける
9月号	2,000	ちょっと気分転換
10月号	2,100	山あり谷あり
11月号	2,100	大好きな本
12月号	2,000	夢のような時間
1月号	2,200	ここにある幸せ
2月号	2,400	前向きになる工夫
3月号	2,300	尊敬する人
合計	26,700部	(前年度25,700部)

(2) 「愛」

号	発行部数	備考
4月号	900	
5月号	900	
6月号	1,000	
7月号	1,200	ふれあい特集号
8月号	900	
9月号	900	
10月号	1,000	
11月号	1,100	ふれあい特集号
12月号	800	
1月号	900	
2月号	1,200	
3月号	1,100	ふれあい特集号
合計	11,900部	(前年度12,400部)

2. 令和7年版「日々の力」の制作・販売

(1) 制作

題名	「大切なこと発見」
作者	〈絵と文字〉小亀 たく（絵本作家・グラフィックデザイナー）
内容	明るく元気な職場づくり、心温まる家庭づくりのために心がけ、実行したいことを31日分の言葉にまとめ、文字に絵を添えて制作した。
体裁	日めくり式短冊形・33枚、カラー刷り
印刷部数	11,500部(宣伝用含む) 第1回納品－9月3日、第2回納品－9月9日

(2) 販売

ダイレクトメールや「向上」誌等で会員や「日々の力」愛好者への普及に努めるとともに、会社・団体の年末年始贈答品としての利用を呼びかけた。

区分	件数	部数
SYDオリジナル	110	2,310
無地	45	293
注文名入れ印刷	31	6,000
合計	186件	8,603部
前年度合計	163件	9,679部

※ 9月4日～6日

新潟県上越地区5社、中越地区3社を販売促進活動で訪問【保坂】

3. 教育図書の普及、教材の販売

小亀たく氏にカバーデザインを依頼した新装版『人生のことば365日』を制作し販売。その他、『蓮沼門三の言葉110』、『蓮沼門三物語』などの図書、研修教材の『人生ガイドー研心』などを普及・販売した。

4. 「SYDかわらばん〈最新活動情報〉」の発行・送付

SYD事業や会員組織活動の最新情報を届けることを目的に、毎月20日頃(8月を除く)に各800部(2頁～4頁)を発行し(NO.184～194)、クラブ・連合会・評議員等へ送付するとともに、事業参加者等に手渡し配布した。

また、その全記事をSYDホームページ「webかわらばん」で紹介した。

5. 広報活動

(1) ホームページの充実

SYD事業の予定や報告、参加者募集の呼びかけ、さらにSYDの理解を深めてもらうための各種情報を発信した。

公益4・収益1

VIII. 施設運営事業

1. 伊勢青少年研修センター

〈別表-13〉

(1) 利用状況

ア. 主催講習会(クリスマス会、リーダー研修会を含む)

回数 15回(前年度14回)

利用者数 816名(前年度634名)

イ. 受託講習会（夏期少年少女合宿講習会を含む）

回数 15回（前年度17回）

利用者数 857名（前年度819名）

ウ. 貸会場

回数 15回（前年度16回）

利用者数 588名（前年度517名）

※ア+イ+ウ=45回、2,261名（前年度45回、1,997名）

2. ばんだいふれあいびあ

(1) 利用状況

〈別表-14〉

利用回数 22回（前年度25回）

利用者数 745名（前年度746名）

延べ利用者数 2,602名（前年度2,317名）

(2) 施設修繕等

- ・電動水抜水栓開閉装置替工事（6月）
- ・施設7か所屋根塗り替え工事（8月）
（ふれあい荘, かつこう, うぐいす, センター, センター裏倉庫, 炊事場, わかさぎ荘）
- ・ふれあい荘石油給湯器入替工事（8月）
- ・うぐいす床板土台修繕工事（10月）
- ・除雪車レンタル（12月、1月）

3. 修養団SYDビル

(1) SYDホールおよび会議室の貸出状況

ア. SYDホール

回数 123回（前年度106回）

利用者数 11,020名（前年度9,540名）

イ. SYD会議室(16階)

回数 8回（前年度10回）

利用者数 120名（前年度200名）

(2) 施設の整備等

- ・ホール、会議室の壁面および演台、机等補修工事（6月）
- ・会議室ラウンジカーテン更新工事（7月）

4. 関西会館

- ・テナント（1階、2階部分）の適正管理をおこなった。

IX. 表彰

1. 第19回SYDボランティア奨励賞

(1) 募集活動

募集パンフレット18,000部を作成し、《出前講座》開催校、キャンプ開催地県の小学校、全国の中・高・大学へ送付すると共に、関連団体、全国の県・市教育委員会等へ広報依頼をしたところ、全国から合計78件の応募があった。

(2) 選考委員会の開催 ※WEB会議

会場出席、リモート出席を含め7名の委員により選考が行われ、各賞の選考決定を行った。

開催日 12月17日(火) 11時～12時30分

会場 SYD会議室

出席者 委員7名、内リモート出席委員2名

事務局3名(真下 淳一、岩佐加寿子、山口千恵子)

文部科学大臣賞 1点

宮城県農業高等学校 桜プロジェクト (宮城県)

優秀賞 3点

【小・中学生の部】松茂苗代町立松茂中学校 (徳島県)

【高校生の部】愛知県立安城高等学校 ハッピーキッチン (愛知県)

【大学・一般の部】学生NGO ALPHA (東京都)

特別賞 1点

うるま市立津堅小中学校 (沖縄県)

(3) 贈呈式 ※修養団創立119周年記念式典の中で開催

期日 令和7年2月8日(土) 13時30分～15時

出席者 54名(受賞関係者15名、来賓2名、全国修養団運動推進会議出席者37名)

内容 ①主催者挨拶：御手洗理事長

②祝辞：文部科学省総合教育政策局地域学習推進課課長 高木 秀人

③選考経過報告：富士道正尋

④受賞者挨拶・活動報告：5団体

2. 令和6年度功労者表彰

〈敬称略〉

【名誉団員】2名

鈴木 義信(東京都)、宮城 英次(沖縄県)

【蓮沼賞】2名

白石 高司(福島県)、海田 孝行(岐阜県)

【表彰】団体：1団体、個人：1名

【感謝状】団体：1団体、個人：8名

XI. 諸会議の開催等

1. 理事会

(1) 第1回理事会 ※WEB会議

- 期 日 5月23日(木)
- 出席者 理事：15名(内web出席2名)、監事：1名
山崎主幹
- 議 題 ア. 令和5年度事業報告について
イ. 令和5年度収支決算について
ウ. 理事の改選について
エ. 書面理事会開催について
オ. 常勤役員の定年について
カ. 相談役の選任について
キ. 令和6年度上期慰労手当の支給について
ク. その他
- ・ 定時評議員会の開催について
 - ・ 改選に伴う理事就任手続きについて

(2) 臨時理事会 ※書面

- 期 日 6月8日(土)
- 出席者 理事：15名、監事：2名
- 議 題 理事長、専務理事、常務理事の選定について

(3) 第3回理事会 ※WEB会議

- 期 日 令和7年3月24日(月)
- 出席者 理事：11名(内web出席：2名)、監事：1名
山崎主幹
- 議 題 ア. 令和7年度事業計画について
イ. 令和7年度収支予算について
ウ. 定時評議員会の招集について
エ. その他
- ・ 次回の理事会の開催日について

※事業経過報告書と収支月報の送付

10月1日付けで4～8月までの「事業経過報告書」と「収支月報」を理事・監事・評議員に送付した。

2. 第14回評議員会 ※WEB会議

- 期 日 6月8日(土)
- 出席評議員 14名(内web出席2名)
- 議 題 ア. 令和5年度事業報告並びに決算について
イ. 令和6年度事業計画並びに収支予算について
ウ. 理事の選任について
エ. 令和7年度事業計画への要望について
オ. その他
- ・ 根岸秋吉氏の相談役の委嘱について
 - ・ 理事長・専務理事・常務理事の選定について

3. 後援会役員会

期 日 7月11日(木) ※=web出席
出席者 常任幹事: 5名 (弘中聡、高岡英則、平岡真一※、笠原隆、新田一文代理: 嘉悦幸子)
監 事: 1名 (山根健嗣※)
修 養 団: 4名 (御手洗康、山崎一紀、真下淳一、岩佐加寿子)
議 題 ア. 令和5年度後援会事業報告・収支決算及び監査報告について
イ. 令和6年度後援会事業計画(案)並びに収支予算(案)について
ウ. 令和5年度修養団主要事業報告及び令和6年度主要事業計画について

4. 慶弔

(1) 物故団員・同志ご芳名

福島県	大澤	君一	殿	7月28日	名誉団員、修養団愛汗喜多方永生監事
千葉県	増田	誠	殿	3月11日	修養団元職員、後援会員
福島県	三瓶	利正	殿	3月27日	修養団福島県連合会事務局長

(2) 物故同志慰霊の集い

7月11日(木)、SYDビル会員ルームにおいて、物故された恩人・先輩・永生会員・同志の慰霊祭を山崎主幹はじめ本部役職員により執り行った。

5. SYD将来計画プロジェクト「令和」

令和元年9月1日に職員4名で構成、スタート。10年後、20年後の社会を予測した上での今後のSYDの在り方(運動展開等)について具体的な事項も合わせて令和7年に提言を行うための準備をしている。

6. 講師研修会

〈別表-15〉

本団の教育理念および教育事業活動に関する研究・協議を行うとともに、講師相互の研鑽ならびに資質向上を図ることをねらいとしてオンライン(Zoom)研修会を実施した。

(1) Zoom 講師研修会

開催数 11回

7. 創立120周年記念大会プロジェクトチームの発足並びに会議の開催

創立120周年記念大会の開催準備のためプロジェクトチームを発足し、月2回会議を開催し、諸準備の検討を進めている。

発足日 10月1日

メンバー 岩佐(チーム長)、山口(サブチーム長)、中野、鈴木、志村、境、市島、増田

内 容 記念大会の骨子案作成、記念事業案、実行委員会案、ロゴマーク案をまとめる。

会議日 ①10/1、②10/22、③11/6、④11/28、⑤12/18、⑥1/15、⑦1/31、⑧2/1
⑨2/26、⑩3/6、⑪3/21

8. その他

6月10日	内閣府 定期立入検査（検査官2名）
6月28日	内閣府 令和5年度 事業報告等の提出
7月 5日	上期慰労手当支給
7月24日	内閣府 役員変更届の提出
8月 6日	在団理事会開催
9月17日	在団理事会開催
10月 8日	在団理事会開催
11月12日	在団理事会開催
12月 3日	下期慰労手当支給
12月11日	在団理事会開催
令和7年1月22日	在団理事会開催
2月18日	在団理事会開催
3月12日	在団理事会開催

令和6年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和7年3月

公益財団法人 修 養 団

令和6年度 後援会活動報告

修養団後援会は修養団の活動を財政的に応援しようとして大正14年に渋沢栄一翁が中心となり設立されました。初代会長に就任した渋沢翁は多くの企業に修養団運動を広めることに尽力下さり、当会は来年設立100年を迎えます。これもひとえに永年にわたる会員の皆様のご支援の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年度の後援会活動は、7月11日に開催された役員会において決定された事業計画に基づき、募金目標額12,000,000円の達成をめざして7月下旬より活動を開始しました。三菱グループ、三井グループ、住友グループ、日本製鉄、UBE、フジタ、キッコーマン、日立システムズ、北越コーポレーション、東芝、東京ビル整美等々法人会員96社、個人会員134名の方々の深いご理解と温かいご支援により、11,340,000円の会費収入を得る事ができました。

なお、会費収入のうち経費を除いた金額10,999,293円を後援会の助成対象事業である「青少年の健全育成」「家庭教育の推進」「社会教育指導者の育成」の3事業支援のために修養団へ繰り入れさせていただきました。

令和6年度の修養団は様々な事業を活発に行ない、「愛と汗」の精神を広げることができました。

ここに謹んで後援会役員をはじめ全国の法人会員、個人会員の皆様の貴いご支援、ご協力に対し、心より感謝を申し上げます。

1. 会員移動状況

(1) 新入会員 〈法人会員 2団体、個人会員 15名〉

(東京都) (株)ヴォートル、(千葉県) (学)千葉黎明学園

(北海道) 木村 則夫、佐藤 登、(埼玉県) 栗原 浩司、林 春幸、(千葉県) 市川大次郎、(東京都) 漆原 幸保、高岡 英則、(神奈川県) 竹間 和子、(新潟県) 中島 郁雄、(愛知県) 清水 孝紀、(京都府) 内村 公一、(広島県) 石田 雅也、(香川県) 永山 淑、(熊本県) 藤本 康子、(鹿児島県) 袴田 哲郎

(2) 逝去会員 〈個人会員 2名〉

(福島県) 三瓶 利正、(千葉県) 増田 誠

2. 募金活動

(1) 募金目標・募金実績 (単位・円)

〈募金目標〉	〈募金実績〉
法人会費 10,000,000円	法人会費 9,850,000円(96社)
個人会費 2,000,000円	個人会費 1,490,000円(134名)
合計 12,000,000円	合計 11,340,000円

(2) 募金方法

ア. 文書活動

7月11日に開催された後援会役員会で承諾された事業計画にもとづき、7月下旬より募金活動を開始。令和6年度会費納入のお願い書を法人、個人会員宛に発送した。

イ. 訪問活動

7月下旬に関東地区法人会員各社を訪問し、平素のご支援の御礼とご協力をお願いをした。

3. 広報活動

- (1) 修養団機関誌『向上』6月号に令和5年度の後援会会員名簿を掲載、協力の御礼と感謝の意を表すると共に令和6年度をお願いをした。
- (2) 『向上』(令和6年度5月号より1年間)及び令和7年版「日々の力」を法人、個人各会員に贈呈した。

4. 会 議

(1) 役員会

※=web出席

開催日 7月11(木)11時~13時

出席者 常任幹事：弘中聡、高岡英則、平岡真一※、新田一文(代)嘉悦幸子
監 事：山根健嗣※

議 事 ア. 令和5年度後援会事業報告並びに収支報告及び監査報告について
イ. 令和6年度後援会事業計画(案)及び収支予算(案)について
ウ. 令和5年度修養団主要事業報告並びに令和6年度修養団主要事業計画について

5. 収支報告 (4月1日~令和7年3月31日)

(単位：円)

貸方(支出)	科目	借方(収入)	前年度(収入)
	会費収入(法人)	9,850,000(96社)	9,670,000(98社)
	〃(個人)	1,490,000(134名)	1,160,000(113名)
10,999,293	修養団後援金		
9,507	旅 費		
15,400	印 刷 費		
99,510	通 信 運 搬 費		
168,000	消 耗 品 費		
33,572	会 議 費		
14,718	雑 費		
11,340,000	合 計	11,340,000	10,830,000